

1/24 食へのこだわり語る

作家のすずきももさんと、食のアドバイザー佐々木十美さんによる対談が1月24日、中央公民館で行われました。本催しは町内の子育てサークル「あそぼう舎」が食について考える機会を設けようと企画したものです。対談ですずきさんは「全道各地の給食を取材してきたが置戸が一番」と絶賛し、佐々木さんは「命がけで給食作りに取り組んできました」と、食への熱い思いを語りました。



1/26 切り絵で仲間づくり

生涯学習情報センターでは、切り絵を通じて仲間づくりを図ってもらおうと1月26日と2月2日の2回シリーズで「楽しい切り絵教室」を開催しました。講師の矢崎秀人さんから「多少の失敗は気にしないで。出来上がった作品を眺めて自分で自分を褒めてあげましょう」とアドバイスを受け、参加者はゆっくりとカッターナイフを動かしながら、絵を切り抜く作業に没頭していました。



2/5 ようこそ！先輩！

自然体験教育など様々な活動を展開するNPO法人「ねおす」理事の宮本英樹さんが2月5日、母校の置戸中学校を訪れ「社会を変える自分を変える生き方」と題して講演を行いました。宮本さんは、東日本大震災の支援活動について触れ「あたり前の日常も失って初めてその価値に気付く。本当に大切なことは何かを考えて一日一日を真剣に生きてほしい」と後輩たちへ熱く語りました。



2/9 手作り雑貨市に人だかり

町民の手作り作品を集めた雑貨市「第10回キッチンファクトリー」が2月9日と10日の2日間、コミュニティホールぼっぼで開かれました。店内にはニットや皮、布、ガラス、陶芸製品などがズラリと並び、町内外からの女性客や家族連れで賑わいを見せました。今年は10回目を迎えた記念に来店客へお汁粉やだんご汁が無料で振る舞われ、「温まる」「おいしい」とこちらも好評でした。

